

No. 1129

企業
zoom up
天時情報システム

わたしたちの技術とチャレンジが
必ず社会貢献につながることを信じて

「ピンチをチャンスと捉え、前向きにチャレンジしていくことが、会社の成長につながる」と語る武藤社長



ここ数年で、急速に普及した生体認証システム。指紋や静脈、虹彩などが主流であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、非接触タイプが注目されている昨今、(株)天時情報システムが主力事業として取り組むのが、顔認証ソリューションだ。

同社の顔認証ソリューションは、立ち止まることなく視線を向けるだけで認証される。要する時間は1秒にも満たず、その認証率は99.98%を誇る。

認証装置本体は手のひらサイズとコンパクトだが、1万人のデータを保存することができる大容量だ。事前に登録したデータが写真か動画に関わらず、認証の際は顔を3Dで捉える。そのため、眼鏡や髪形の変化だけでなく、写真や動画によるなりすましも見抜くことができる。また、装置内の情報はベクトルデータで保存されており、セキュリティ面も万全だ。加えて、同社が提供するクラウドサービスを併用すれば、サーバーの管理やメンテナンスも不要である。また、顔認証ソリューションに、勤怠管理やイベント管理など、様々なシステムを紐づけることで、各種業務の簡略化までも可能になる。

コロナ禍において、体温は感染の有無を確認する大切な指標である。同社の認証装置には検温器付バージョンもあり、認証と同時に体温測定も可

能だ。32℃から42℃まで測定でき、その誤差は±0.5℃だという。例えば、これをオフィスや商業施設の出入りに設置すれば、顔認証と検温が同時にでき、いつ・誰が・体温〇℃ということを管理するとともに異常値検出時にはアラーム発報やメールなどでの通知も可能だ。

これまでの導入実績は、大手建設会社の建設現場入門システムやIT企業の社内カフェ電子決済連携、スポーツジムの会員管理、大手量販店のVIP会員管理(来客対応)など多岐にわたる。同社の顔認証が持つ可能性は無限大であり、顧客ニーズに応じた柔軟な提案が可能となっている。

コロナ禍の社会や企業活動を、顔認証ソリューションで支える同社から目が離せない。

(取材・文/東京支社情報部 菊地 央里子)

会社概要

(株)天時情報システム
 TDB企業コード：974003172
 法人番号：1010001108063
 東京都中央区入船1-9-8
 電話03-5913-7230
 代表：武藤 理恵 氏
 設立：2006年3月
 資本金：2000万円
 事業内容：システム設計・開発・運用・保守、
 ソリューションサービス
 年売上高：約10億8100万円(2021年9月期)
<https://www.ten-ji.co.jp/>